

2023年7月21日

## 第 14 期 決算公告

東京都千代田区富士見一丁目6番1号  
株式会社毎日が発見  
代表取締役 三宅 明

# 第 14 期

2022 年 4 月 1 日から  
2023 年 3 月 31 日まで

## 計 算 書 類

貸 借 対 照 表  
損 益 計 算 書  
株 主 資 本 等 変 動 計 算 書  
個 別 注 記 表

株式会社毎日が発見

# 貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>387,208</b>	<b>流動負債</b>	<b>564,148</b>
現金及び預金	13,120	買掛金	198,914
売掛金	230,919	借入金	100,346
商品	120,682	未払金	105,345
製品	4,084	未払費用	4,487
仕掛品	3,293	未払法人税等	290
貯蔵品	987	賞与引当金	4,926
前払費用	526	返品負債	16,466
立替金	254	契約負債	131,794
その他	15,406	その他	1,575
貸倒引当金	△2,066	<b>固定負債</b>	<b>4,244</b>
<b>固定資産</b>	<b>23,232</b>	退職給付引当金	4,244
有形固定資産	0	<b>負債合計</b>	<b>568,392</b>
建物	0	<b>(純資産の部)</b>	
器具備品	0	<b>株主資本</b>	<b>△157,950</b>
無形固定資産	0	資本金	100,000
ソフトウェア	0	資本剰余金	256,187
投資その他の資産	23,232	資本準備金	75,000
繰延税金資産	23,232	その他資本剰余金	181,187
		その他利益剰余金	△ 514,137
		繰越利益剰余金	△ 514,137
		<b>純資産合計</b>	<b>△157,950</b>
<b>資産合計</b>	<b>410,441</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>410,441</b>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

〔 2022年4月1日から  
2023年3月31日まで 〕

(単位:千円)

科 目	金 額	金 額
売 上 高		1,532,413
売 上 原 価		908,389
売 上 総 利 益		624,024
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		851,040
営 業 損 失		227,016
営 業 外 収 益		115
受 取 利 息	72	
そ の 他	42	
営 業 外 費 用		161
支 払 利 息	161	
経 常 損 失		227,062
特 別 損 失		
減 損 損 失	93,682	93,682
税 引 前 当 期 純 損 失		320,745
法人税、住民税及び事業税	290	
法人税等調整額	8,510	8,800
当 期 純 損 失		329,545

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

〔 2022年4月1日から  
2023年3月31日まで 〕

(単位:千円)

	株主資本						純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本 合計
		資本準備金	その他剰余 金	資本剰余金 合計	その他利益剰余 金			
					繰越利益剰余金			
当期首残高	100,000	75,000	181,187	256,187	△184,591	171,595	171,595	
当期変動額								
当期純損失					△329,545	△329,545	△329,545	
当期変動額 合計	-	-	-	-	△329,545	△329,545	△329,545	
当期末残高	100,000	75,000	181,187	256,187	△514,137	△157,950	△157,950	

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

## 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 棚卸資産

商品	…	移動平均法による原価法
製品	…	個別法による原価法
仕掛品	…	個別法による原価法
貯蔵品	…	最終仕入原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産 … 定額法

#### (2) 無形固定資産 … 定額法

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

### 3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金 … 債権の貸倒れによる損失の発生に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金 … 従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当期負担分を計上しております。

(3) 退職給付引当金 … 従業員の退職給付に備えるため、期末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。

### 4. 消費税等の会計処理方法

税抜方式によっております。

## 【損益計算書に関する注記】

営業損益が継続してマイナスしている資産の帳簿価額を全額減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。その種類ごとの内訳は以下のとおりであります。

建物付属設備	766 千円
工具器具備品	1,760 千円
ソフトウェア	91,156 千円
合計	93,682 千円

## 【株主資本等変動計算書に関する注記】

### 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	6,511	—	—	6,511

### 2. 配当に関する事項

該当事項はありません

# 事業報告

〔 2022年 4月 1日から  
2023年 3月 31日まで 〕

## 1. 株式会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過および成果

当社は、2009年7月、(株)角川・エス・エス・コミュニケーションズ(現(株)KADOKAWA)と(株)千趣会の合弁会社として、持続的な成長が見込まれる『シニア向け通販ビジネス』に本格参入すべく設立されました。定期購読誌『毎日が発見』本誌と通販コンテンツのさらなる融合を目指して、(株)KADOKAWAから『毎日が発見』出版事業を承継し、また2021年12月には雑誌『3分クッキング』の販売・広告事業を継承し、収益力の強化と企業価値向上に努めてまいりました。

当期におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染状況に落ち着きがみられ、個人消費の緩やかな回復が期待される状況にありましたが、2022年7月以降、急速な感染の再拡大に加え、資源高や円安等を背景とする物価上昇等により景気の下押しリスクが懸念される状況となりました。このような経営環境の中、当期の売上高は1,532,413千円(前期比105%)となり、利益面では、営業損失227,016千円(前期営業損失59,246千円)、経常損失227,062千円(前期経常損失58,909千円)、当期純損失329,545千円(前期純損失49,105千円)となりました。

### [事業別概況]

#### (1) 出版事業・通販事業

当社は、シニア女性層に向けた通販事業「毎日が発見ショッピング」並びに、直販定期購読誌『毎日が発見』及び、雑誌『3分クッキング』の販売・広告事業を展開しております。

通販部門では、カタログ制作の効率化による営業利益の改善、書店流通を使った通販事業の販路拡大、『レタスクラブ』等へのブリッジ展開やWEBサイトを活用した外部からの物販新規顧客の獲得、従来顧客より低年齢層(ポスト団塊世代)をターゲットにしたオリジナル商品の開発・販売に注力しました。

出版部門では、「dマガジン」を通じた電子版の提供や、次期のマネタイズを視野にインターネットメディア「毎日が発見ネット」に注力しました。また定期購読誌『毎日が発見』や『毎日が発見ネット』からコンテンツを書籍化し販売するなどシニアターゲットジャンル群としての事業拡大を図りました。

この結果、通販売上 608,841 千円(前期比 81.9%)、出版売上 641,847 千円(前期比 128.4%)、広告売上 278,929 千円(前期比 129.7%)となりました。

## (2) その他

当社はその他に、チケットの受託販売事業等を行っております。これらの事業の売上の合計は 2,795 千円(前期比 389.3%)となりました。

## (2) 重要な設備投資の状況

設備投資の総額は 90,298 千円であり、その主な内容は次のとおりであります。

電話 LAN 配線工事	829 千円
セキュリティーリーダー設置	715 千円
通販 EC サイトの開発	3,280 千円
通販基幹システムの開発	85,474 千円

注) 設備投資の金額には、有形固定資産のほか無形固定資産のうちソフトウェア及びソフトウェア仮勘定を含めております。

## (3) 重要な資金調達の状況

項目	前期会計年度末	当期会計年度末	増減
借入金	0 千円	100,346 千円	100,346 千円

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## (4) 対処すべき課題

カタログ通販から EC への構造変化、雑誌市場の縮小トレンド等、既存事業の市場環境は厳しい状況にあります。当社も EC ショッピングサイトへの事業展開及びカタログ通販の収益力の向上を図ってきたものの、基幹システム構築による収益基盤の改善・強化については、新システムリリース時の多数の不具合による顧客の大量離脱など、課題が残る結果となりました。

また資材コスト、物流コストのさらなる高騰及び、現状の中心顧客である「団塊の世代」が後期高齢者とされる年齢に近づき、消費行動が不活発になっていくリスクも存在します。このような厳しい市場環境に対応するため、既存事業(雑誌出版・カタログ通販)の収益構造改善に取り組むと同時に、EC 化推進



のボトルネックとなっている基幹システムと EC サイトのシステム連携を実施します。

今後、シニア世代のメディア接触及び購買行動が大きく変容していくことは間違いありません。このような外部環境の変化を、「毎日が発見」事業の業績のみならず、その社会的意義をさらに高める機会と捉え、以下に取り組んでまいります。

- ・利益率の高いシニア向けオリジナルアパレル商材の企画販売及び販路の拡大を通じた通販部門黒字の実現
- ・WEB メディア強化による新規顧客の獲得及び広告・通販への送客
- ・EC 化の推進を目的とした基幹システムと EC サイトのシステム連携

#### (5) 直前3事業年度の財産および損益の状況

区 分	第 11 期 (2020 年 3 月期)	第 12 期 (2021 年 3 月期)	第 13 期(当期) (2022 年 3 月期)	第 14 期(当期) (2023 年 3 月期)
売 上 高(千円)	1,418,455	1,370,344	1,458,631	1,532,413
営業損失(千円)	63,278	32,449	59,246	227,016
経常損失(千円)	62,691	31,813	58,909	227,062
当期純損失(千円)	65,624	28,985	49,105	329,545
1株当たり当期純損失(円)	10,714.16	4,732.40	7,853.21	50,613.71
総 資 産(千円)	715,471	544,990	572,970	410,441
純 資 産(千円)	249,687	220,701	171,595	△157,950
1株当たり純資産(円)	40,765.26	36,032.85	26,354.70	△24,259.01

(注) 1. 記載金額(1株当たり数値を除く)は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。また、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

3. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日)等を当事業年度の期首から適用しており、当事業年度に係る金額については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

**(6) 重要な子会社及び親会社の状況**

当社の親会社は(株)KADOKAWAであり、当社の株式 5,286 株(出資比率 81.2%)を所有しております。

**(7) 重要な合併、会社分割、事業譲渡等の状況**

該当事項はありません。

**(8) 主要な事業内容 (2023 年 3 月 31 日現在)**

事業区分	主な事業内容
出版事業	雑誌『毎日が発見』、雑誌『3分クッキング』の出版及び広告
通販事業	「毎日が発見ショッピング」における通信販売

**(9) 主な営業所及び工場 (2023 年 3 月 31 日現在)**

営業所名	所在地
本社	東京都千代田区五番町 3 番地 1

**(10) 使用人の状況 (2023 年 3 月 31 日現在)**

使用人数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
15 (3)	+2	47.7	3.7

- (注) 1. 使用人数は就業員数でありグループ内外への出向者(兼務出向を含む)を除きます。  
2. 臨時従業員(有期契約社員、派遣社員)の人数については、使用人数の括弧内に年間の平均人数を外数で記載しております。

**(11) 主要な借入先及び借入額 (2023 年 3 月 31 日現在)**

	前期会計年度末	当期会計年度末	増減
(株)KADOKAWA	0	100,346	100,346

- (注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 2. 株式の状況 (2023年3月31日現在)

- |              |         |
|--------------|---------|
| (1) 発行可能株式総数 | 7,000 株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 6,511 株 |
| (3) 株主数      | 2名      |
| (4) 大株主      |         |

株主名	持株数	持株比率
株式会社KADOKAWA	5,286 株	81.2 %
株式会社千趣会	1,225 株	18.8 %

## 3. 会社役員 の状況 (2023年3月31日現在)

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	三宅 明	経営全般 (株)KADOKAWA デジタルコンテンツ局 局長(理事)
取締役	橋場 一郎	(株)KADOKAWA デジタル事業グループ 執行役員 Chief Digital Officer (株)ブックウォーカー 取締役 (株)ドワンゴ 取締役 (株)ムービーウォーカー 取締役 (株)GeeXPlus 取締役 (株)KADOKAWA Game Linkage 取締役 (株)KADOKAWA Connected 取締役 KADOKAWA World Entertainment Inc. Director 台湾角川股份有限公司 董事 J-Novel Club LLC Director
取締役	井上 智之	(株)千趣会 事業開発本部法人事業部 部長
取締役	大家 太	(株)KADOKAWA デジタルコンテンツ局 DC 事業開発部 部長 兼 デジタルコンテンツ局 DC 事業開発部 ダ・ヴ インチWeb編集部 課長 兼 デジタルコンテンツ局 マ ーケティング部 兼 DC局 ウォーカー事業部

取 締 役	三枝 大祐	(株)KADOKAWA デジタル戦略局 ECビジネスサポート部 部長 兼 デジタル営業局 EC企画部 ストラテジスト 兼 デジタル営業局 EC企画部 ECマーケティング課 課長
監 査 役	栗原 優	(株)KADOKAWA 監査室 (株)ビルディングブックセンター 監査役 (株)KADOKAWA KEY-PROCESS 監査役 (株)KADOKAWA Future Publishing 監査役 (株)角川クラフト 監査役